

自分には関係ないと 思っていませんか？

AIDS

エイズ（後天性免疫不全症候群）とは

HIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染することによっておこる病気の総称です。

HIVに感染しても、自覚症状のない時期が数年続きます。自分がHIV感染していることを知らずに放置していると、免疫機能が低下し、本来なら自分の力で抑えることのできる感染症や悪性腫瘍などにかかりやすくなります。HIV感染者が、エイズ発症の指標とされる病気のいずれかを発症すると、エイズと診断されます。

HIV感染症／エイズの医療は進歩しています。体からHIVを完全になくすまでは現在の医学では難しいですが、HIVウイルスの感染に早く気づき、適切な治療をすれば発病を抑えて、健康な人と変わらない生活を送ることができます。

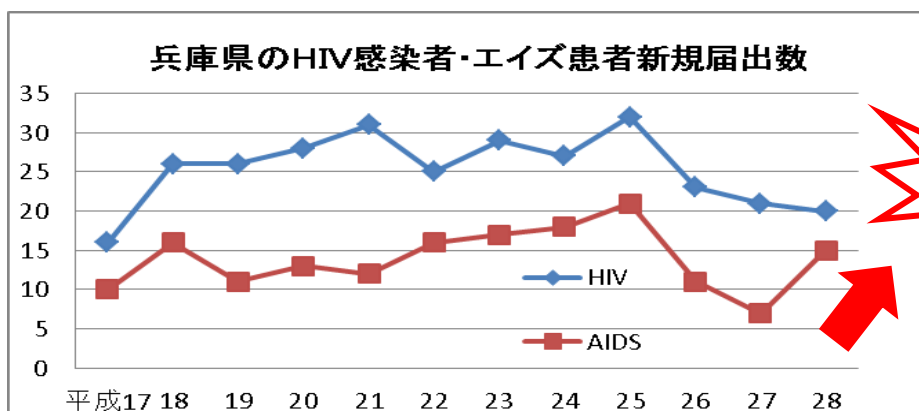
自覚症状がないため、自分では感染していることに気がつきません。

自分には関係ない！自分は絶対に大丈夫！！と言えますか？

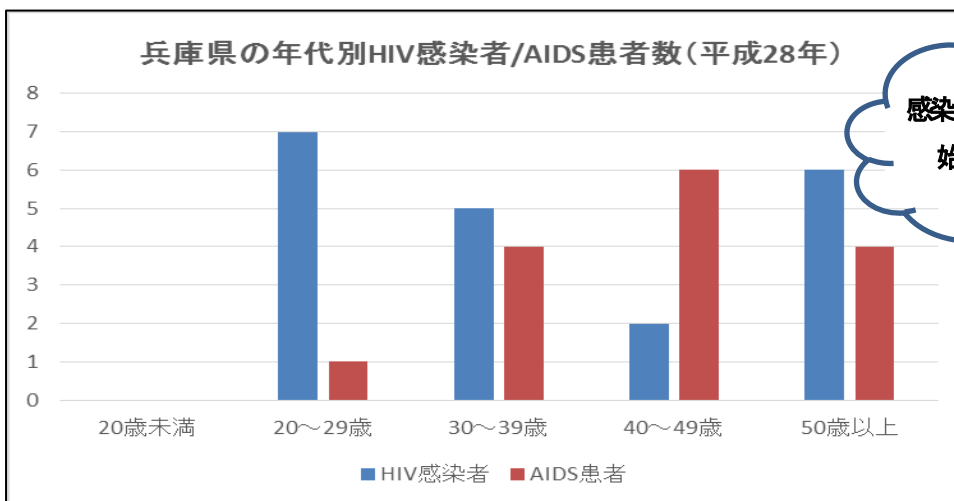
“いきなりエイズ”が増えています

“いきなりエイズ”とは、エイズを発症して初めてHIVに感染していたことに気づく状態を言います。

日本では、HIV感染者とエイズ患者を合わせた新規報告者数に占めるエイズ患者数の割合は約3割のまま推移しています。平成28年の兵庫県内の新規HIV感染者は20人、新規エイズ患者は15人で、全国に比べてエイズ発症で初めて感染に気付く人の割合が高い傾向が続いています。



また、兵庫県内の新規報告者数を年齢別に見ると、働き盛りの30歳代～40歳代で新規エイズ患者の割合が高くなっていることが分かります。



性行為による感染がほとんどです

HIVは血液や精液、膣分泌液などの体液に含まれ、主な感染経路は性行為感染・血液感染・母子感染の3つです。なかでも圧倒的に多いのが性行為感染です。

特定の人とのセックスや、肛門や口での行為（アナル・オーラルセックス）でも感染のリスクがあり、注意が必要です。

性行為以外の日常生活では感染しません。
性行為のはじめから終わりまでコンドームを正しく使い、体液が直接粘膜や傷口に触れないようにすること（セーファーセックス）が大切です！

HIV 感染症の治療

HIV 感染症/エイズの医療は進歩を続けていますが、現時点では体内のHIVを完全に取り除く治療法はありません。しかし、抗HIV療法の進歩によって、エイズを発症する前にHIV感染を知り適切な治療を継続すれば、感染前と変わらない日常生活を送ることができるようになりました。

HIV 感染症の治療では、作用の異なる3剤以上の抗HIV薬を併用して服薬します。現在は新しい薬が増え、1日1回1錠の服用ですむ薬も開発されています。また、HIV 感染症の治療には社会保障制度があり、経済的負担が軽減されます。

自分のためにも、他の人への感染を防ぐためにも、HIVの感染が分かったら、自覚症状がなくてもすぐに医療機関を受診し、早期に治療を開始することが重要です。

検査を受けてみるのがスタートです！

HIVに感染しているかどうかは、血液検査で確認できます。ただし、感染してから抗体ができるまでは6～12週間かかるので、感染の心配があった日から3カ月以上経ってから検査を受けるのが確実です。

全国の保健所では、エイズに関する相談及び【匿名・無料】の検査が受けられます。まずはお気軽に下記までご連絡下さい。

洲本健康福祉事務所（保健所） 健康管理課
〒656-0021 洲本市塩屋 2-4-5
●検査日：毎月第2・4火曜日 9:30～11:45
●検査項目：HIV、梅毒、B型肝炎、C型肝炎
●検査結果：HIV・梅毒は検査当日午後
B型肝炎・C型肝炎は約2週間後
●検査予約：☎0799-26-2062



夜間・休日検査を希望の場合は、HIV検査相談マップ
<http://www.hivkensa.com/>
を検索してみよう！

こんな場合、検査をお勧めします

下記のような性感染症にかかっていたり、免疫の低下が疑われる疾患がある場合、特にHIV感染のリスクが高いと言われています。

- ・クラミジア、梅毒、淋病、尖圭コンジローマ、性器ヘルペス、ウイルス性肝炎（A,B,C）
- ・若年者・壮年期の帯状疱疹、結核、口腔内カンジタ症、長期間持続する原因不明の発熱・下痢・肺炎など

★ 洲本健康福祉事務所では、HIV検査と共に【匿名・無料】で梅毒・B型肝炎・C型肝炎の検査が受けられます。1人で抱え込まず、気になる症状があるときはまずご相談下さい。